

厚生労働科学研究研究費補助金
医療技術評価総合研究事業

症状・所見の標準化と
診療分析手法の開発研究

平成15年度～平成16年度 総合研究報告書

主任研究者：藤 田 伸 輔

平成17(2005)年3月

目 次

I. 総括研究報告

症状・所見の標準化と診療分析手法の開発研究 藤田伸輔	----- 1
-------------------------------	---------

(資料) PHYXAM日本語版	----- 7
目次	----- 9
用語集	----- 13
さくいん	----- 63
PHYXAM英語版	----- 93
位置記載テーブル	-----167
セット項目テーブル	-----181
PHYXAMガイドライン	-----183
症状の標準化マスター	-----189
症状分類の基本要素	-----191
1 W 1 H修飾語テーブル	-----193
4 W修飾語テーブル	-----195
症状分類・ICPC-2クロスマッチテーブル	-----203
症状の標準化マスターガイドライン	-----221

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 なし

IV. 研究成果の刊行物・別刷については資料を参照下さい

(参考資料) PHYXAM説明会開催案内

症状・所見の標準化と診療分析手法の研究

(主任)研究者 藤田 伸輔 兵庫医科大学篠山病院講師

研究要旨 診療レベルの向上を図るためにはEBMを推進する必要がある、根拠となるデータをより効率的に集積し、分析しなければならない。本研究は日常診療の記録からEBMの根拠となるデータを収集することを目指して症状・所見を構造的に記載できるように標準化を行った。米国・英国を中心に標準化されているSNOMED-CTは用語集としての標準化であり本研究とは方向性が異なる。このため身体所見については英文への翻訳を行い、SNOMED-CTと共存して世界規模で診療分析を推進することを目指した。

分担研究者氏名

木村通男	浜松医科大学附属病院 医療情報部教授
高林克日己	千葉大学医学部附属病院 企画情報部教授
武隈良治	医療情報システム開発 センター標準化推進室

A.研究目的

本研究の目的は症状・所見の標準化である。症状の記載は患者の病態を理解する最初的手段であり、症状を元に診るべき身体所見を決定し、症状・所見を合わせて検査計画・治療計画を立案する。従って症状・所見は全ての診療の入り口であり、これを標準化することにより診療行為を分析可能になる。即ち本研究の目指す標準化とは使用する単語の統一ではなく、診療行為を分

析するための標準化である。

B.研究方法

【身体所見の標準化】

①フィールドワーク

平成15年度より着手した身体所見の標準化ファイルをPHYXAMと命名した。このPHYXAMを実際の診療で用いて、問題点の抽出を目指した。

PHYXAMを搭載した電子カルテを作成した。日本内科学会専門医会のメンバーと日本プライマリ・ケア学会国際疾病分類委員会のメンバーに試用と、問題点の報告を依頼した。求めた報告は(i)身体所見の記載において不足している項目、(ii)記載に際してSub項目の設定が不適切な項目、(iii)不足している或いは不適切な値、(iv)入力インターフェース上の問題、以上4点である。

②マスターメンテナンス

フィールドワークで得られた問題点を解

決するためにマスターの修正を計画した。
i)位置記載フィールドの新設、ii)位置記載セットのコード化、iii)解剖軸のコード化、iv)構造型・表現型レコードの使用目的修正と表現識別の変更、v)所見項目の表記修正、vi)所見項目の値修正、vii)程度・論理型の新設、viii)所見項目の削除、ix)所見項目の追加、以上9通りの変更が必要であった。構造そのものにも及ぶ修正を矛盾無く行うためにマスターメンテナンスルールを確立することを計画し、メンテナンス施行後の確認作業手順を確立した。

以上の作業の後、実際のマスターメンテナンスを実行し、確認作業を行った。

③多言語翻訳と情宣活動

グローバル戦略として多言語への翻訳方法について検討した。ICPC及びICPC-2の翻訳、プライマリ・ケア用語集の翻訳などの翻訳における問題点を検討し、その解決策を探った。

情宣活動として全国5カ所での説明会開催とAPAMI Working GroupにおいてPHYXAM配布と採用の働きかけを行った。

④SNOMED-CTとの比較

SNOMED-CTを購入し、その構造及び内容の検討を行った。

⑤MedDRAとの比較

MedDRAを購入し、その構造及び内容の検討を行った。

【症状の標準化】

①ベースの検討

症状を記載に利用できる標準化ファイルとしてICPC-2、SNOMED-CT、MedDRAの3者を比較検討し問題点を抽出した。

②標準化マスターの作製

ICPC-2をベースとすることを決定の後、

訴えのグルーピングを行い、これらを身体部位と関連づけられるものと関連づけられないものに分類してマトリックスを作製した。

【通信実験】

症状の標準化マスターとPHYXAMを用いた疑似多施設間医療情報共有実験を計画した。

多施設間での情報共有のためには(i)患者の認証、(ii)共有する情報、(iii)通信規格を決定する必要がある。

(i)患者の認証

多施設間で患者を認証するために用いる方法は住民基本台帳カード(住基カード)の利用と独自患者管理システムの構築が考えられ、これを比較検討した。

(ii)共有情報の検討

多施設間での患者情報共有について、共有すべき項目の検討を行った。個人情報保護の点からも共有項目について検討した。

(iii)通信規格

通信規格にはHL7が医療情報通信の唯一の規格であり、これを元に患者認証研究、共有情報研究の成果を反映する方法を検討した。

以上の検討を元に非常に多量のデータとなることを想定し、2台のデータベースサーバに患者データをIDにより振り分けてデータ格納し、該当患者一覧と詳細データを抽出する実験を行った。

(倫理面への配慮)

本研究では倫理のなかで特に個人情報保護にかかわる注意が必要と考えられる。厚生労働省のガイドラインに従って検討を加えた。

特にデータベースサーバでは万一ハッキングを受けても誰のデータかわからないようにデータ自体を匿名化することを考案し

た。なお本研究で用いた患者データは全くダミーで実在患者とは関係ないものを作製して研究した。

C.研究結果

【身体所見の標準化】

①フィールドワーク

22名がフィールドワークを実施した。一人20例以上とし、総数472症例についてデータ入力を行った。このプログラムではPHYXAMの解剖軸を基本に入力する所見をたどる方式としたが、このインターフェースは不評であった。そこで解剖図から直接たどる方式と、ICPC-2で記載した症状から記載すべき身体所見の一覧を表示する方式を考案し、これらの入力方式を実現するために位置記載テーブルのコード化とICPC-2・PHYXAMクロスマッチテーブルを作製した。

②マスターメンテナンス

フィールドワークで改訂を要すると判断されたレコードは820レコードに及んだ。これを元に修正ルールとその確認作業手順を確立した。

ルール確立の後メンテナンス作業を実施し、確認作業を実施した。

③多言語翻訳

マスターメンテナンス時に直ちに翻訳版へも変更を反映するため、全ての語彙を並べ直し、単語の対訳を作製する方式とした。即ち日本語の用語をASCII配列とし、その横に英語、英語と並べた。これをVLOOKUP関数により翻訳版とした。英語欄を2重にした理由は英語を見ながら第3カ国語を入力するためである。

④SNOMED-CTの分析

SNOMED-CTはアメリカ病理学会が開

発し、米国・英国・マレーシアで標準として採用されている。カルテに記載する可能性がある全ての用語を集めているため、医学用語以外にも多く含まれている。

SNOMED-CTがPHYXAMと異なる点は身体所見の値を含めてコード化していることである。このためテキスト形式で書かれた記録からも目的とする所見を検索可能である。テキスト形式で書くことを前提としているため、条件を掛け合わせた検索は行いにくい。もちろんテキスト記載された身体所見からSNOMED-CTを抽出し、これをデータベース化すれば条件を掛け合わせた検索も可能となるので、SNOMED-CTで記載してPHYXAM形式に変換すれば良い。すなわちPHYXAMとSNOMED-CTは補完し合う事が可能である。

⑤MedDRAの分析

MedDRAは薬剤副作用情報を収集することを目的に作製された。その構造はSNOMED-CTと類似している。MedDRAは副作用を記載するために症状及び所見を記載するための用語も多数含んでいるが、SNOMED-CTほど網羅的ではない。

【症状の標準化】

①ベースの検討

SNOMED-CTは日本語版が存在しない。特に症状分類では英語と日本語が1対1に対応しないため、この点が最大の難点となった。しかしSNOMED-CTの分析を行ったことはPHYXAM同様に翻訳して国際標準としていくことを考えた場合に対応テーブルを作製する目処が立った。

MedDRAは日本語版が存在するが、症状記載には圧倒的に語彙が不足することが問題となった。

ICPC-2はプライマリ・ケア医が使用する事を目的としたもので、症状の多くをカ

バーしている。また ICD とも連携をとりながら開発されたものであり、コード体系の理解は SNOMED-CT や MedDRA に比してそれほど困難ではない。しかし ICPC-2 は診療の国際比較を目的としているため、症状の細かな記載はできない。このため本研究では ICPC-2 をベースとしながら、より細かな記載を実現し、個人情報保護にも対応するため、プライバシーに深く関わる要素はプログラムで自動排除できる構造を開発した。

【通信実験】

(i) 患者の認証

患者を認証するためには認証局が必要であるが、これを健康管理システム用に新たに構築することは経費の点で問題がある。ヨーロッパでは保険者の負担で IC カードを発行しているが、本邦では1患者1保険者ではないため保険者に認証を求めることは困難であると判断した。

本邦では住基カードが1患者1カードであり個人の認証が保証されているだけではなく、住基カード設計時に健康管理システムでの利用を前提としている。したがって住基カードの利用が最良の方法と判断した。ただし個人情報保護の観点からの検討で住基カードの個人 ID を健康管理システムでも使用するとサーバに不正アクセスした場合に重大な情報漏洩が起こるおそれが指摘され、サーバには個人の氏名や住所あるいは個人を特定する手がかりとなる住基カードの個人 ID を掲載しない方針とした。この方針により、健康管理システムへの登録を個人が了承した際にセンターから健康管理 ID を発行し、この ID を住基カードに記載することを考案した。健康管理センターでは住基カードの個人 ID と健康管理 ID の対照表を作成するが、これをオフラインとして情報保護を行うことを考案

した。

(ii) 共有情報の検討

多施設間での患者情報共有について、カードに記載して共有すべき項目の検討を行った。検討にあたっては個人情報保護の点から記載項目はできるだけ少ない方が望ましく、災害時などネットワークが使用不可能な際に必要な項目に絞り込んだ。これらの検討の結果健康管理情報は住基カードの容量に納めることが可能であり、この面からも住基カードの利用が適当であると判断した。

(iii) 通信規格

通信規格には HL7 が医療情報通信の唯一の規格であり、これを元に患者認証研究、共有情報研究の成果を反映する方法を検討した。HL7Ver.3 では患者氏名の匿名化も配慮されているが、現在標準の Ver.2.3 あるいは 2.5 では必須項目である。そこで本研究では氏名および生年月日をすべてのダミーデータとし、生年月日の代わりに数え月齢を採用した。

日々の診療をデータベース化し EBM を行うためのデータウェアハウスを構築するためには本研究の成果である症状および所見の標準化マスターを用いてリレーショナルデータベースを作製しなければならない。しかしこのようなデータウェアハウスは莫大なデータ量となり実現のためには最大の難関となると考える。本研究ではこれを打開する一つの案として、データサーバの分割を提案した。患者毎に登録するデータサーバを固定し、情報量の増大に対してはサーバの追加で対処する。検索に対しては全てのデータサーバにリクエストし、それぞれの結果を分析サーバに転送してから研究を行う方式とすれば、国民を対象としても対応可能なシステムを構築可能と考

える。

D. 考察

【PHYXAM（身体所見の標準化）】

フィールドワークとその結果を基にした改訂により PHYXAM はβ版から正式リリースとなった。また ICPC-2・PHYXAM クロスマッチテーブルおよび位置記載テーブルのコード化により電子カルテにおける身体所見入力を効率的に行うための材料がととのった。

SNOMED-CT および MedDRA との比較検討を行った。これらのマスターは所見を検査方法だけではなくその結果まで含めてコード化している事から明らかになった。このためこれらのマスターはテキスト形式で書かれた記録から目的の所見を抽出することに優れている。しかし複数の所見を共集合或いは排他集合により検索することや診療経過における特定所見の変化を抽出することは容易ではない。一方 PHYXAM はこれらの分析を行うために開発したものであり、この点が最大の長所であるがテキスト形式での記載では冗長となり可読性に欠ける。即ち開発目的の違いにより PHYXAM は SNOMED-CT 及び MedDRA と併存させることに意義があり、SNOMED-CT の邦訳と SNOMED-CT と PHYXAM のクロスマッチテーブル作製が今後は是非必要な研究である。

【症状の標準化】

症状の標準化においても PHYXAM と同様に構造化をテーマとした。症状の構造化は個人情報保護の点でも、多言語に対応するためにも有意義な方法であった。個々の患者を診療するにあたり、いつ・どこで・誰によって・どのような健康被害が発生したのかという情報が不可欠である。また事故を予防するためにこのような情報を集積

・分析することも必要である。しかし一方これらの情報は個人情報保護の点から慎重に扱わなければならない。症状の構造化によって多施設間での共同診療では全ての情報を伝達し、臨床研究ではこれらの情報を秘匿するといった処理をプログラム中で自動処理することが可能となった。

本研究では症状の標準化に対してフィールドワークを行わなかった。これは本研究の開発ベースとなった ICPC-2 日本語版で既にフィールドワークを実施しており、用語としては日常診療の記載をほぼカバーできていることが確認済みであるからである。

【通信実験】

本研究により住基カードが優れた設計によるものであることを確認したが、システムのセキュリティは必ず破綻する可能性があることを考慮して、住基カードとは別の健康管理のための ID を発行することを提案した。

本研究では日常診療から EBM を行うためのデータを採取し、これをデータウェアハウスとすることを提案した。このデータウェアハウスを構築するために必要な資産の推計は本研究の範囲を超えるため行わなかったが、実現可能なものと鳴りつつあることは示せた。実際に実現するために本研究を発展させることが必要である。

E. 結論

日常診療の成果を分析し、医療の質を高める事を目的として症状・所見の標準化を行った。このため記載の構造化を重視し、SNOMED-CT と競合するのではなく併用する意義のあるマスターを作製した。本研究により診療情報データウェアハウス構築は実現に近づいた。

F. 研究発表

1. 論文発表

1) 木村通男: 相互接続運用と HL7, 映像情報 Medical, Vol.36:13, 1438-1443, 産業開発機構株式会社, 2004.

2) 木村通男: 国際モダンホスピタルショウ 2004・カンファランス IT フォーラム, 現状で実現可能な電子カルテの範囲～標準化の課題と意義～, 日本病院会雑誌 Vol.52:2, 100(264)-124(288), 社団法人日本病院会, 2005.

3) Ono H, Takabayashi K, Suzuki T, Yokoi H, Imiya A, Satomura Y. Extraction of diagnosis related terminological information from discharge summary. Medinfo. 2004;2004 (CD):1786.

4) 高林克日己--在宅医療のための地域医療 (EMI net) 癌と化学療法. 2003 Dec;30(1 Suppl):169-72.

2. 学会発表

1) M.Kimura, T.Sakusabe, S.TaniY, Naito, F.Sasaki: General Purpose Portable Data: MERIT-9 Referral Document Conformin Both CDA R212 and IHE PDI (Portable Data for Image), HL7 2nd International Conference on the CDA, 30-31, Acapulco, Mexico, Oct.21,2004.

3. 研究成果発表会

1) 名古屋において医療情報学連合体会の前日説明会を開催した。

2) 日本救急医療財団の医療技術評価総合研究推進事業研究成果発表助成により札幌、東京、大阪、福岡の4会場(計全国5会場)で説明会を開催した。

2) APAMI Working Group において環太平洋地域に対して本研究の趣旨とその成果を

報告し、採用を呼びかけた。

G. 知的財産権の出願・登録状況

本研究の成果は広く国内で活用されることを目標としており、知的財産権の出願は行わないこととした。

身体所見の標準化マスター PHYXAM

内容

解剖軸による目次

用語集

索引

大分類		中分類		測定対象	
解剖軸コード	コード 項目	コード	項目	コード	項目
1.1.1	1 バイタルサイン	1	意識	1	意識状態
1.2.1	1 バイタルサイン	2	血圧	1	血圧
1.3.1	1 バイタルサイン	3	呼吸	1	胸郭
1.3.2	1 バイタルサイン	3	呼吸	2	呼吸状態
1.3.3	1 バイタルサイン	3	呼吸	3	酸素飽和度
1.4.1	1 バイタルサイン	4	体温	1	体温
1.5.1	1 バイタルサイン	5	脈拍	1	脈拍
2.1.1	2 全身	1	体格	1	体格
2.2.1	2 全身	2	体位・移動	1	姿勢
2.2.2	2 全身	2	体位・移動	2	体位
2.3.1	2 全身	3	リンパ節	1	表在性リンパ節
2.4.1	2 全身	4	皮膚	1	皮膚
2.4.2	2 全身	4	皮膚	2	皮下
2.5.1	2 全身	5	爪	1	爪
3.1.1	3 神経系	1	脳神経系	1	嗅神経
3.1.2	3 神経系	1	脳神経系	2	視神経
3.1.3	3 神経系	1	脳神経系	3	瞳孔
3.1.4	3 神経系	1	脳神経系	4	眼球運動
3.1.5	3 神経系	1	脳神経系	5	動眼・滑車・外転神経
3.1.6	3 神経系	1	脳神経系	6	三叉神経
3.1.7	3 神経系	1	脳神経系	7	顔面神経
3.1.8	3 神経系	1	脳神経系	8	聴神経
3.1.9	3 神経系	1	脳神経系	9	内耳神経
3.1.10	3 神経系	1	脳神経系	10	舌下神経
3.1.11	3 神経系	1	脳神経系	11	舌咽神経・迷走神経
3.1.12	3 神経系	1	脳神経系	12	副神経
3.1.13	3 神経系	1	脳神経系	13	脳幹神経
3.2.1	3 神経系	2	髄膜	1	髄膜
3.3.1	3 神経系	3	自律神経系	1	自律神経系
3.3.2	3 神経系	3	自律神経系	2	膀胱直腸障害
3.4.1	3 神経系	4	高次脳機能	1	知能
3.4.2	3 神経系	4	高次脳機能	2	記憶障害
3.4.3	3 神経系	4	高次脳機能	3	失語
3.4.4	3 神経系	4	高次脳機能	4	失行
3.4.5	3 神経系	4	高次脳機能	5	体性感覚高次機能障害
3.4.6	3 神経系	4	高次脳機能	6	欠陥の意識の障害
3.4.7	3 神経系	4	高次脳機能	7	視覚高次機能障害
3.4.8	3 神経系	4	高次脳機能	8	聴覚高次機能障害
3.5.1	3 神経系	5	感覚系	1	末梢神経
3.5.2	3 神経系	5	感覚系	2	表在感覚
3.5.3	3 神経系	5	感覚系	3	深部感覚
3.5.4	3 神経系	5	感覚系	4	総合感覚
3.6.1	3 神経系	6	運動系	1	姿勢
3.6.2	3 神経系	6	運動系	2	起立
3.6.3	3 神経系	6	運動系	3	歩行
3.6.4	3 神経系	6	運動系	4	動作
3.6.5	3 神経系	6	運動系	5	単麻痺
3.6.6	3 神経系	6	運動系	6	対麻痺
3.6.7	3 神経系	6	運動系	7	片麻痺
3.6.8	3 神経系	6	運動系	8	書字障害
3.6.9	3 神経系	6	運動系	9	構音障害
3.6.10	3 神経系	6	運動系	10	表在反射
3.6.11	3 神経系	6	運動系	11	深部反射
3.6.12	3 神経系	6	運動系	12	神経根
3.6.13	3 神経系	6	運動系	13	病的反射
3.6.14	3 神経系	6	運動系	14	協調運動
3.6.15	3 神経系	6	運動系	15	てんかん発作
3.6.16	3 神経系	6	運動系	16	痙攣
3.6.17	3 神経系	6	運動系	17	不随意運動
3.6.18	3 神経系	6	運動系	18	振戦
3.6.19	3 神経系	6	運動系	19	筋緊張

解剖軸コード	大分類		中分類		測定対象	
	コード	項目	コード	項目	コード	項目
3.6.20	3	神経系	6	運動系	20	頭頸部筋緊張
3.6.21	3	神経系	6	運動系	21	体幹筋緊張
3.6.22	3	神経系	6	運動系	22	上肢筋緊張
3.6.23	3	神経系	6	運動系	23	下肢筋緊張
3.6.24	3	神経系	6	運動系	24	筋萎縮
3.6.25	3	神経系	6	運動系	25	筋力
3.6.26	3	神経系	6	運動系	26	腱反射
4.1.1	4	頭頸部	1	頭部	1	頭部全体
4.2.1	4	頭頸部	2	顔面	1	顔面全体
4.3.1	4	頭頸部	3	顔貌	1	顔貌
4.4.1	4	頭頸部	4	眼	1	視力
4.4.2	4	頭頸部	4	眼	2	色覚
4.4.3	4	頭頸部	4	眼	3	眼
4.4.4	4	頭頸部	4	眼	4	眼球
4.4.5	4	頭頸部	4	眼	5	眼瞼
4.4.6	4	頭頸部	4	眼	6	結膜
4.4.7	4	頭頸部	4	眼	7	角膜
4.4.8	4	頭頸部	4	眼	8	虹彩
4.4.9	4	頭頸部	4	眼	9	水晶体
4.4.10	4	頭頸部	4	眼	10	眼底
4.4.11	4	頭頸部	4	眼	11	眼圧
4.4.12	4	頭頸部	4	眼	12	眼涙
4.5.1	4	頭頸部	5	耳鼻咽喉頭	1	耳
4.5.2	4	頭頸部	5	耳鼻咽喉頭	2	鼻
4.5.3	4	頭頸部	5	耳鼻咽喉頭	3	歯口
4.6.1	4	頭頸部	6	頸部	1	耳下腺
4.6.2	4	頭頸部	6	頸部	2	顎下腺
4.6.3	4	頭頸部	6	頸部	3	甲状腺
4.6.4	4	頭頸部	6	頸部	4	頸部
5.1.1	5	胸部	1	胸郭	1	胸郭
5.2.1	5	胸部	2	心臓	1	心臓
5.2.2	6	胸部	2	心臓	2	血管
5.3.1	5	胸部	3	肺	1	肺
5.4.1	5	胸部	4	乳房	1	乳房
6.1.1	6	腹部	1	腹部	1	腹部
6.1.2	6	腹部	1	腹部	2	腹部の外形
6.1.3	6	腹部	1	腹部	3	腹部の表面
6.1.4	6	腹部	1	腹部	4	腹部の全般
6.1.5	6	腹部	1	腹部	5	肝臓
6.1.6	6	腹部	1	腹部	6	胆嚢
6.1.7	6	腹部	1	腹部	7	脾臓
6.1.8	6	腹部	1	腹部	8	腎臓
6.1.9	6	腹部	1	腹部	9	背部の全般
6.1.10	6	腹部	1	腹部	10	崕径部ヘルニア
6.2.1	6	腹部	2	女性性器	1	外陰部
6.2.2	6	腹部	2	女性性器	2	陰・子宮・卵巣
6.3.1	6	腹部	3	男性性器	1	外性器全般
6.3.2	6	腹部	3	男性性器	2	陰毛
6.3.3	6	腹部	3	男性性器	3	陰莖
6.3.4	6	腹部	3	男性性器	4	陰のう
6.4.1	6	腹部	4	陰部	1	肛門・直腸
6.4.2	6	腹部	4	陰部	2	前立腺
6.5.1	6	腹部	5	便・尿	1	便
6.5.2	6	腹部	5	便・尿	2	尿
7.1.1	7	四肢	1	四肢外観	1	四肢の外観
7.2.1	7	四肢	2	四肢	1	四肢
7.2.2	7	四肢	2	四肢	2	骨幹部
7.2.3	7	四肢	2	四肢	3	関節
7.2.4	7	四肢	2	四肢	4	腱
7.3.1	7	四肢	3	上肢	1	上肢

解剖軸コード	大分類		中分類		測定対象	
	コード	項目	コード	項目	コード	項目
7.3.2	7	四肢	3	上肢	2	肩
7.3.3	7	四肢	3	上肢	3	上腕
7.3.4	7	四肢	3	上肢	4	肘
7.3.5	7	四肢	3	上肢	5	前腕
7.3.6	7	四肢	3	上肢	6	手
7.3.7	7	四肢	3	上肢	7	指
7.4.1	7	四肢	4	下肢	1	下肢
7.4.2	7	四肢	4	下肢	2	股
7.4.3	7	四肢	4	下肢	3	大腿
7.4.4	7	四肢	4	下肢	4	膝
7.4.5	7	四肢	4	下肢	5	膝関節
7.4.6	7	四肢	4	下肢	6	膝関節動揺
7.4.7	7	四肢	4	下肢	7	下腿
7.4.8	7	四肢	4	下肢	8	足
7.4.9	7	四肢	4	下肢	9	足底腱板
7.4.10	7	四肢	4	下肢	10	足趾
8.1.1	8	生体計測	1	徒手筋力	1	体幹
8.1.2	8	生体計測	1	徒手筋力	2	上腕
8.1.3	8	生体計測	1	徒手筋力	3	前腕
8.1.4	8	生体計測	1	徒手筋力	4	手
8.1.5	8	生体計測	1	徒手筋力	5	股
8.1.6	8	生体計測	1	徒手筋力	6	大腿
8.1.7	8	生体計測	1	徒手筋力	7	下腿
8.2.1	8	生体計測	2	関節可動域	1	体幹
8.2.2	8	生体計測	2	関節可動域	2	肩
8.2.3	8	生体計測	2	関節可動域	3	肘
8.2.4	8	生体計測	2	関節可動域	4	手
8.2.5	8	生体計測	2	関節可動域	5	指
8.2.6	8	生体計測	2	関節可動域	6	股
8.2.7	8	生体計測	2	関節可動域	7	膝
8.2.8	8	生体計測	2	関節可動域	8	足
8.2.9	8	生体計測	2	関節可動域	9	足趾

表現管理番号	専門レベル	PCレベル	解剖軸コード	大分類	中分類	測定対象	診察方法	基本用語	Data Type	Sub項目	左右	位置記載	評価基準	値	単位	値の範囲	表記用語
1a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	意識清明	論理型					ありなし			
2a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	傾眠	論理型					ありなし			
3a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	昏迷	論理型					ありなし			
4a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	半昏迷	論理型					ありなし			
5a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	昏迷	論理型					ありなし			
6a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	深昏迷	論理型					ありなし			
7a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	失神	論理型					ありなし			
8a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	せん妄	論理型					ありなし			
17	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	意識障害	程度			JCS	1・2・3・10・20・30・100・200・300			Japan Coma Scale	
17a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	JCS	程度				1・2・3・10・20・30・100・200・300				
20	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	意識障害	程度			GCS	3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15			Glasgow Coma Scale	
20a	1	1	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	GCS	程度				3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15				
34	2	2	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	グラスゴーコーマスケール(開眼)	程度				E1・E2・E3・E4			グラスゴーコーマスケール(開眼)	
39	2	2	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	グラスゴーコーマスケール(発語)	程度				V1・V2・V3・V4・V5			グラスゴーコーマスケール(発語)	
45	2	2	1.1.1	バイタルサイン	意識	意識状態	視診	グラスゴーコーマスケール(行動)	程度				M1・M2・M3・M4・M5・M6			グラスゴーコーマスケール(行動)	
46	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	脈拍数	数値型				数値	回/分		脈拍数	
47	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	頸動脈拍動	程度		○			ふれる・弱い・ふれない			頸動脈拍動
48	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	大臍動脈拍動	程度		○			ふれる・弱い・ふれない			大臍動脈拍動
49	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	橈骨動脈拍動	程度		○			ふれる・弱い・ふれない			橈骨動脈拍動
50	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	上腕動脈拍動	程度		○			ふれる・弱い・ふれない			上腕動脈拍動
51	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	膝窩動脈拍動	程度		○			ふれる・弱い・ふれない			膝窩動脈拍動
52	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	後脛骨動脈拍動	程度		○			ふれる・弱い・ふれない			後脛骨動脈拍動
53	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	足背動脈拍動	程度		○			ふれる・弱い・ふれない			足背動脈拍動
54	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	脈拍リズム	論理型				整脈・不整脈			脈拍リズム	
55a	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	絶対不整脈	論理型				ありなし				
56a	2	2	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	血圧計	交互脈	論理型				ありなし				
57a	2	2	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	血圧計	奇脈	論理型				ありなし				
58	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	脈拍欠損	論理型				ありなし				脈拍欠損
58a	2	2	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	速脈	論理型				ありなし				
60a	2	2	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	速脈	論理型				ありなし				
61	1	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	脈拍左右差	論理型				ありなし				脈拍左右差
62	3	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	血圧計	脈拍上下差	論理型				ありなし				脈拍上下差
63a	2	2	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	二峰性脈	論理型				ありなし				
64	3	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	血管壁性状	程度論理型				蛇行				血管壁蛇行
64a	3	1	1.5.1	バイタルサイン	脈拍	脈拍	触診	血管壁蛇行	程度論理型				ありなし				
66	1	1	1.2.1	バイタルサイン	血圧	血圧	血圧計	最高血圧	数値型				数値	mmHg			最高血圧
67	1	1	1.2.1	バイタルサイン	血圧	血圧	血圧計	最低血圧	数値型				数値	mmHg			最低血圧
80	2	1	1.2.1	バイタルサイン	血圧	血圧	血圧計	聴診間隙	論理型				ありなし				聴診間隙
85a	1	1	1.4.1	バイタルサイン	体温	体温	体温計	体温	数値型				数値				
87	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	呼吸数	数値型				数値	回/分			呼吸数
88a	2	2	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	胸式呼吸	論理型				ありなし				
89a	2	2	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	腹式呼吸	論理型				ありなし				
90a	2	2	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	胸腹式呼吸	論理型				ありなし				
91a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	深呼吸	論理型				ありなし				
92a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	浅呼吸	論理型				ありなし				
93a	2	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	呼吸運動抑制	論理型				ありなし				
94a	2	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	呼吸運動停止	論理型				ありなし				
95a	1	1	1.3.1	バイタルサイン	呼吸	胸郭	視診	奇異性呼吸運動	論理型				ありなし				

表現 管理 番号	専 門 レ ベル	PC レ ベル	解剖 軸 コ ード	大分類	中分類	測定対象	診察方 法	基本用語	Data Type	Sub項 目	左 右	位置 記載	評価 基準	値	単位	値の範 囲	表記用語
96a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	吸気性呼吸困難	論理型					あり・なし			
97a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	呼気性呼吸困難	論理型					あり・なし			
98	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	起坐呼吸	論理型					あり・なし			起坐呼吸
99	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	肩呼吸	論理型					あり・なし			肩呼吸
100	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	努力呼吸	程度論 理型					あり・なし			努力呼吸
101	2	2	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	片側臥呼吸	論理型			○		あり・なし			片側臥呼吸
102	2	2	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	片側呼吸	論理型			○		あり・なし			片側呼吸
103	2	2	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	シーソー呼吸	論理型					あり・なし			シーソー呼吸
104	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	呼吸停止	論理型					あり・なし			呼吸停止
105a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	過換気	論理型					あり・なし			
106a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	周期性呼吸	論理型					あり・なし			
107a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	チェーン・ストーク ス呼吸	論理型					あり・なし			
108a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	クスマウル大呼吸	論理型					あり・なし			
109a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	ビオー呼吸	論理型					あり・なし			
110a	1	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	下顎呼吸	論理型					あり・なし			
111a	2	1	1.3.2	バイタルサイン	呼吸	呼吸状態	視診	奇異呼吸	論理型					あり・なし			
112	1	1	1.3.3	バイタルサイン	呼吸	酸素飽和度	視診	パルス オキシメ ータ	数値型					数値	%	0~100	パルスオキシメ ータ酸素飽和度
113	2	2	1.3.3	バイタルサイン	呼吸	酸素飽和度	視診	腕血の 酸素飽和度	数値型					数値	%	0~100	腕血の酸素飽和
114	1	1	2.1.1	全身	体格	体格	視診	身長計 身長	数値型					数値	cm		身長
115	2	2	2.1.1	全身	体格	体格	視診	低身長	論理型					あり・なし			低身長
116	2	2	2.1.1	全身	体格	体格	視診	高身長	論理型					あり・なし			高身長
117a	2	2	2.1.1	全身	体格	体格	視診	小児様体形	論理型					あり・なし			
118	1	1	2.1.1	全身	体格	体格	視診	体重計 体重	数値型					数値	kg		体重
119	1	1	2.1.1	全身	体格	体格	視診	栄養状態	論理型					良好・異常			栄養状態
120a	1	1	2.1.1	全身	体格	体格	視診	肥満	程度論 理型					あり・なし			
121a	1	1	2.1.1	全身	体格	体格	視診	単純性肥満	程度論 理型					あり・なし			
122a	1	1	2.1.1	全身	体格	体格	視診	中心性肥満	程度論 理型					あり・なし			
123a	1	1	2.1.1	全身	体格	体格	視診	やせ	程度論 理型					あり・なし			
124a	1	1	2.1.1	全身	体格	体格	視診	るいそう	程度論 理型					あり・なし			
125	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	立位保持	論理型	閉眼				可能・不可能			閉眼立位保持
126	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	立位保持	論理型	閉眼				可能・不可能			閉眼立位保持
127	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	起立	論理型					可能・不可能			起立
128	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	座位保持	論理型					可能・不可能			座位保持
129	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	起座	論理型					可能・不可能			起座
130	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	仰臥位	論理型					可能・不可能			仰臥位
131	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	寝返り	論理型					可能・不可能			寝返り
132a	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	腹臥位	論理型					可能・不可能			
133a	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	側臥位	論理型			○		可能・不可能			
134a	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	ファーラー位	論理型					可能・不可能			
135a	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	トレンデレンブル グ位	論理型					可能・不可能			
136a	1	1	2.2.2	全身	体位・移動	体位	視診	シムズ位	論理型					可能・不可能			
137	2	2	2.2.1	全身	体位・移動	姿勢	視診	前腕屈曲	論理型					あり・なし			前腕屈曲
138	2	2	2.2.1	全身	体位・移動	姿勢	視診	前腕回内肢位	論理型					あり・なし			前腕回内肢位
139	2	2	2.2.1	全身	体位・移動	姿勢	視診	マン・ウェルニック 肢位	論理型					あり・なし			マン・ウェルニック 肢位
140	1	2	2.2.1	全身	体位・移動	姿勢	視診	除脳硬直	論理型					あり・なし			除脳硬直
141	2	2	2.2.1	全身	体位・移動	姿勢	視診	除皮質硬直	論理型					あり・なし			除皮質硬直
142	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚	論理型					正常・異常			皮膚
159	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚描記	論理型					あり・なし			皮膚描記
160a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	赤色皮膚描記	論理型					あり・なし			
161a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	白色皮膚描記	論理型					あり・なし			
162	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚角化	論理型					正常・異常			皮膚角化
164a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚角化 異常	程度論 理型					あり・なし			
165a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	限局性皮膚角化 異常	程度論 理型			○		あり・なし			
168a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚落屑増加	程度論 理型			○		あり・なし			

表現管理番号	専門レベル	PCレベル	解剖軸コード	大分類	中分類	測定対象	診察方法	基本用語	Data Type	Sub項目	左右	位置記数	評価基準	値	単位	値の範囲	表記用語
171a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚鱗角化	程度論理型		○	○		あり・なし			
174a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	疣贅様鱗屑	程度論理型		○	○		あり・なし			
177a	2	2	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	魚鱗様鱗屑	程度論理型			○		あり・なし			
180a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚亀裂	程度論理型		○	○		あり・なし			
183a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚亀裂	程度論理型					あり・なし			
184a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	限局性皮膚亀裂	程度論理型			○		あり・なし			
187a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚硬化	程度論理型		○	○		あり・なし			
190a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚硬化	程度論理型					あり・なし			
191a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	多発性皮膚硬化	程度論理型		○	○		あり・なし			
192a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	限局性皮膚硬化	程度論理型			○		あり・なし			
195a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	近位性皮膚硬化	程度論理型					あり・なし			
196a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	末梢性皮膚硬化	程度論理型		○	○		あり・なし			
197a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	手指皮膚硬化	程度論理型					あり・なし			
198a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	顔面皮膚硬化	程度論理型					あり・なし			
199	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚角化	程度論理型		○	○		あり・なし			皮膚の菲薄化
200a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚菲薄化	程度論理型					あり・なし			
201a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	限局性皮膚菲薄化	程度論理型			○		あり・なし			
204	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚角化	程度論理型		○	○		あり・なし			皮膚の萎縮
205a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚萎縮	程度論理型					あり・なし			
206a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	限局性皮膚萎縮	程度論理型			○		あり・なし			
209	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚緊張度	論理型					正常・異常			皮膚緊張度
210a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚緊張度低下	程度論理型		○	○		あり・なし			
211a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚緊張度亢進	程度論理型		○	○		あり・なし			
212	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	触診	皮膚可塑性	論理型					正常・異常			皮膚可塑性
213a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	触診	皮膚可塑性低下	程度論理型					あり・なし			
214a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	触診	皮膚可塑性亢進	程度論理型					あり・なし			
215	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚浮腫	程度論理型		○	○		あり・なし			皮膚浮腫
218a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性浮腫	程度論理型					あり・なし			
219	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚浮腫	程度論理型		○	○		あり・なし			限局性浮腫
220a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	腔骨前面浮腫	程度論理型					あり・なし			
224a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	ソーセージ様浮腫	程度論理型					あり・なし			
225a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	圧痕のない浮腫	程度論理型					あり・なし			
226a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	圧痕のある浮腫	程度論理型					あり・なし			
227	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚発赤	程度論理型		○	○		あり・なし			皮膚の発赤
228a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚発赤	程度論理型					あり・なし			
229a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	限局性皮膚発赤	程度論理型			○		あり・なし			
232a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	単発性皮膚発赤	程度論理型					あり・なし			
233a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	散在性皮膚発赤	程度論理型					あり・なし			
234a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	集簇性皮膚発赤	程度論理型					あり・なし			
235a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	帯状皮膚発赤	程度論理型		○	○		あり・なし			
236a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	線状皮膚発赤	程度論理型					あり・なし			

表現管理番号	専門レベル	PCレベル	解剖コード	大分類	中分類	測定対象	診察方法	基本用語	Data Type	Sub項目	左右	位置記数	評価基準	値	単位	値の範囲	表記用語
237a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	地図状皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
238a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	網状皮膚発赤	程度論理型		○	○		ありなし			
239a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	弓状皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
240a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	環状皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
241a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	対称性皮膚発赤	程度論理型			○		ありなし			
242a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	露出部皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
243a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	非露出部皮膚発赤	程度論理型		○	○		ありなし			
244a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	円形皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
245a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	不整形皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
247a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	腫脹を伴う皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
248a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	自発痛を伴う皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
249a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	圧痛を伴う皮膚発赤	程度論理型					ありなし			
250a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	台形隆起を伴う皮膚発赤	論理型					ありなし			
251a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	乳頭状隆起を伴う皮膚発赤	程度論理型		○	○		ありなし			
252a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	疣贅性隆起を伴う皮膚発赤	論理型		○	○		ありなし			
253a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	半球状隆起を伴う皮膚発赤	論理型		○	○		ありなし			
254a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	中央陥凹を伴う皮膚発赤	論理型					ありなし			
255	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚原発疹	論理型		○	○		ありなし			皮膚原発疹
258a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚斑	論理型		○	○		ありなし			
259a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	丘疹	論理型					ありなし			
260a	1	2	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	漿液性丘疹	論理型		○	○		ありなし			
261a	1	2	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	充実性丘疹	論理型					ありなし			
262a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚結節	論理型		○	○		ありなし			
264a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚小水疱	論理型					ありなし			
265a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚水疱	論理型		○	○		ありなし			
266a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚膿疱	論理型		○	○		ありなし			
267a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚囊胞	論理型		○	○		ありなし			
268a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚影疹	論理型		○	○		ありなし			
276a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	単発性原発疹	論理型					ありなし			
277a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	家族性原発疹	論理型					ありなし			
278a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	環状に分布する原発疹	論理型			○		ありなし			
279a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	帯状に分布する原発疹	論理型		○	○		ありなし			
280a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	対称性に分布する原発疹	程度論理型			○		ありなし			
281a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	一側性に分布する原発疹	論理型					ありなし			
282a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	露出部に分布する原発疹	論理型		○	○・心臓		ありなし			
283a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	非露出部に分布する原発疹	論理型		○	○		ありなし			
284a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	圧痛を伴う原発疹	程度論理型					ありなし			
285a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	出血斑	程度論理型			○		ありなし			

表現管理番号	専門レベル	PCレベル	解剖コード	大分類	中分類	測定対象	診察方法	基本用語	Data Type	Sub項目	左右	位置記載	評価基準	値	単位	値の範囲	表記用語
288a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	点状出血	程度論理型		○	○		ありなし			
291a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	結節性紅斑	論理型			○		ありなし			
294a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	多形滲出性紅斑	論理型		○	○		ありなし			
297a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	円形紅斑	論理型			○		ありなし			
300a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	環状紅斑	論理型			○		ありなし			
303a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	手掌紅斑	論理型					ありなし			
304a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	蝶形紅斑	論理型					ありなし			
305a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	ヘリオトロープ紅斑	論理型					ありなし			
306a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	酒さ	論理型					ありなし			
307a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	網状暗赤紫色斑	論理型		○	○		ありなし			
310	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚皸発疹	文字列型		○	○		ありなし			皮膚皸発疹
313a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	表皮剝離	程度論理型					ありなし			
314a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚のびらん	程度論理型		○	○		ありなし			
315a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚潰瘍	程度論理型		○	○		ありなし			
316a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚腫瘍	程度論理型		○	○		ありなし			
317a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚の亀裂	程度論理型		○	○		ありなし			
318a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	鱗屑	程度論理型					ありなし			
319a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	痂皮	論理型		○	○		ありなし			
320a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	疥癬	論理型					ありなし			
321a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚の癬痕	論理型		○	○		ありなし			
323a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚の色素沈着	論理型		○	○		ありなし			
331a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	単発性皸発疹	論理型					ありなし			
332a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	家族性皸発疹	論理型					ありなし			
333a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	環状に分布する皸発疹	論理型			○		ありなし			
334a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	帯状に分布する皸発疹	論理型		○			ありなし			
335a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	対称性に分布する皸発疹	程度論理型			○		ありなし			
336a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	一側性に分布する皸発疹	論理型					ありなし			
337a	1	2	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	露出部に分布する皸発疹	論理型					ありなし			
338a	1	2	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	非露出部に分布する皸発疹	論理型		○	○		ありなし			
339a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	圧痛を伴う皸発疹	論理型					ありなし			
340	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚腫瘍	論理型		○	○		ありなし			皮膚腫瘍
343	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚腫瘍	数値型	長径	○	○		数値	cm		皮膚腫瘍の大きさ(長径)
344	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚腫瘍	数値型	短径	○	○		数値	cm		皮膚腫瘍の大きさ(短径)
345	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚腫瘍	数値型	高さ	○	○		数値	cm		皮膚腫瘍の大きさ(高さ)
346a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	単発性皮膚腫瘍	論理型			○		ありなし			
347a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	局所多発性皮膚腫瘍	論理型		○			ありなし			
348a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身散在性皮膚腫瘍	論理型					ありなし			
349a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身密生型皮膚腫瘍	論理型					ありなし			

表現管理番号	専門レベル	PCレベル	解剖コード	大分類	中分類	測定対象	診察方法	基本用語	Data Type	Sub項目	左右	位置記載	評価基準	値	単位	値の範囲	表記用語
374	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚腫瘍	程度論理型	性状		○		圧痛を伴う			圧痛を伴う皮膚腫瘍
374a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	触診	圧痛を伴う皮膚腫瘍	程度論理型			○		ありなし			
375	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚腫瘍	程度論理型	性状		○		熱感を伴う			熱感を伴う皮膚腫瘍
375a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	熱感を伴う皮膚腫瘍	程度論理型			○		ありなし			
376	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚腫瘍	程度論理型	性状		○		悪臭を伴う			悪臭を伴う皮膚腫瘍
376a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	悪臭を伴う皮膚腫瘍	程度論理型			○		ありなし			
389	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	触診	皮膚腫瘍	程度論理型	波動		○		ありなし			皮膚腫瘍波動
389a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	触診	皮膚腫瘍波動	程度論理型			○		ありなし			
391a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚瘻孔	論理型		○	○		ありなし			
394a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	単発性皮膚瘻孔	論理型			○		ありなし			
395a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	多発性皮膚瘻孔	論理型		○	○		ありなし			
396a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	治療による皮膚瘻孔	論理型			○	○	ありなし			
397	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚瘻孔	数値型	長径	○	○		数値	cm		皮膚瘻孔(長径)
398	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚瘻孔	数値型	短径	○	○		数値	cm		皮膚瘻孔(短径)
399	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚瘻孔	数値型	深さ	○	○		数値	cm		皮膚瘻孔(深さ)
400	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚瘻孔	程度論理型	分泌		○		ありなし			皮膚瘻孔分泌物
400a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚瘻孔分泌物	程度論理型			○	○	ありなし			
401a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚瘻孔の膿性分泌物	程度論理型			○		ありなし			
402a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚瘻孔の漿液性分泌物	程度論理型			○		ありなし			
403a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	触診	内腔形成を伴う皮膚瘻孔	論理型			○		ありなし			
404	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	触診	握電感	論理型			○		ありなし			皮膚握電感
407	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	レイノー現象	程度論理型					ありなし			レイノー現象
408	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮下気腫	程度論理型		○	○		ありなし			皮下気腫
411	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	くも状血管腫	論理型			○		ありなし			くも状血管腫
414	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	褥瘡	論理型			○	○	ありなし			褥瘡
417	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	褥瘡	数値型	長径	○	○		数値	cm		褥瘡の大きさ(長)
418	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	褥瘡	数値型	短径	○	○		数値	cm		褥瘡の大きさ(短)
419	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	褥瘡	数値型	深さ	○	○		数値	cm		褥瘡の大きさ(深)
420a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	持続する発赤	程度論理型			○		ありなし			
421a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	真皮に達する褥瘡	論理型			○	○	ありなし			
422a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮下組織に達する褥瘡	論理型			○	○	ありなし			
423a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	筋層に達する褥瘡	論理型			○		ありなし			
424a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	骨に達する褥瘡	論理型			○		ありなし			
425a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	下掘れを伴う褥瘡	論理型			○		ありなし			
426a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	少量の浸出液を伴う褥瘡	論理型			○		ありなし			
427a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	中等量の浸出液を伴う褥瘡	論理型			○		ありなし			
428a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	多量の浸出液を伴う褥瘡	論理型			○		ありなし			
429a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	黒色痂皮を伴う褥瘡	論理型			○		ありなし			
430a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	炎症を伴う褥瘡	論理型			○		ありなし			
431a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	感染を伴う褥瘡	論理型			○		ありなし			
432a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	褥瘡創閉鎖	論理型			○		ありなし			

表現管理番号	専門レベル	PCレベル	解剖軸コード	大分類	中分類	測定対象	診察方法	基本用語	Data Type	Sub項目	左右	位置記載	評価基準	値	単位	値の範囲	表記用語
436	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	褥瘡	程度	肉芽形成	○	○		なし・10%未満・10%以上・50%以上			褥瘡の肉芽形成
436a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	褥瘡の肉芽形成	程度		○	○		10%未満・10%以上・50%以上			
438	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	熱傷	論理型		○	○		あり・なし			熱傷
443	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	熱傷	程度	深度	○	○		1度・2度・3度・4度			熱傷深度
443a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	熱傷深度	程度		○	○		1度・2度・3度・4度			
445	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	熱傷	数値型	面積				数値	%	0~100	熱傷の面積
446a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	感染を伴う熱傷	論理型		○	○		あり・なし			
447	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	凍傷	論理型		○	○		あり・なし			凍傷
450	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	凍傷	程度	深度	○	○		1度・2度・3度・4度			凍傷深度
450a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	凍傷深度	程度		○	○		1度・2度・3度・4度			
454	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	凍傷	数値型	面積	○	○		数値	%	0~100	凍傷の面積
455a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	感染を伴う凍傷	論理型		○	○		あり・なし			
456a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚壊死	程度論理型		○	○		あり・なし			
462	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	創傷	数値型	長径	○	○		数値	cm		皮膚創傷の大きさ(長径)
463	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	創傷	数値型	短径	○	○		数値	cm		皮膚創傷の大きさ(短径)
464	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	創傷	数値型	深さ	○	○		数値	cm		皮膚創傷の大きさ(深さ)
465a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	擦過傷	論理型		○	○		あり・なし			
466a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	挫創	論理型		○	○		あり・なし			
467a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	切創	論理型		○	○		あり・なし			
468a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	刺創	論理型		○	○		あり・なし			
469a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	打撲創	論理型		○	○		あり・なし			
470a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	真皮に達する創	論理型		○	○		あり・なし			
471a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮下組織に達する創	論理型		○	○		あり・なし			
472a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	筋層に達する創	論理型		○	○		あり・なし			
473a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	骨に達する創	論理型		○	○		あり・なし			
474a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	内部臓器に達する創	論理型		○	○		あり・なし			
475a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚弁を形成する創	論理型		○	○		あり・なし			
476a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚欠損を伴う創	論理型		○	○		あり・なし			
477a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	感染を伴う創	論理型		○	○		あり・なし			
478a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	膿性分泌物を伴う創	論理型		○	○		あり・なし			
479a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	漿液性分泌物を伴う創	論理型		○	○		あり・なし			
480	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	縫合創	論理型		○	○		あり・なし			縫合創
481a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	縫合創し開	論理型		○	○		あり・なし			
482a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	縫合創感染	論理型		○	○		あり・なし			
483a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	創傷1次治癒値	論理型		○	○		あり・なし			
484a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	創傷2次治癒値	論理型		○	○		あり・なし			
485a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	断端形成後の創傷	論理型		○	○		あり・なし			
486a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚移植後の創傷	論理型		○	○		あり・なし			
487a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚異物	論理型		○	○		あり・なし			
490a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮内異物	論理型		○	○		あり・なし			
491a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮下異物	論理型		○	○		あり・なし			
492a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	爪床下異物	論理型		○	○		あり・なし			
493a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚穿刺異物	論理型		○	○		あり・なし			
494	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚線条	論理型		○	○		あり・なし			皮膚線条
495a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	妊娠線	論理型		○	○		あり・なし			
496a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	手術痕	論理型		○	○		あり・なし			

表現管理番号	専門レベル	PCレベル	解剖コード	大分類	中分類	測定対象	診察方法	基本用語	Data Type	Sub項目	左右	位置記数	評価基準	値	単位	値の範囲	表記用語
497a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚肥厚	論理型					ありなし			
498a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	局所性皮膚肥厚	論理型		○	○		ありなし			
499a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚発汗	程度論理型					ありなし			
502a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	局所性皮膚発汗	程度論理型		○	○		ありなし			
505a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚発汗増加	程度論理型		○	○		ありなし			
506a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	皮膚発汗減少	程度論理型		○	○		ありなし			
507a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	全身性皮膚色素沈着	論理型					ありなし			
510a	1	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	局所性皮膚色素沈着	論理型		○	○		ありなし			
522a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	扁平性黄色腫	論理型		○	○		ありなし			
523a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	発疹性黄色腫	論理型		○	○		ありなし			
524a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	斑状黄色腫	論理型		○	○		ありなし			
525a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	結節性黄色腫	論理型		○	○		ありなし			
526a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	汎発性黄色腫	論理型		○	○		ありなし			
527a	2	1	2.4.1	全身	皮膚	皮膚	視診	黄色板状黄色腫	論理型		○	○		ありなし			
528	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪	論理型		○	○		正常・異常			爪
536a	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲横溝	論理型		○	○		ありなし			
537a	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲縦線	論理型		○	○		ありなし			
538a	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲縦溝	論理型		○	○		ありなし			
539a	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲縦裂	論理型		○	○		ありなし			
540a	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	点状凹窩	論理型		○	○		ありなし			
541a	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	匙状爪	論理型		○	○		ありなし			
542a	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	ばち状指爪	論理型		○	○		ありなし			
543a	2	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲萎縮	程度論理型		○	○		ありなし			
544a	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲粗	程度論理型		○	○		ありなし			
545a	2	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	時計ガラス爪	論理型		○	○		ありなし			
546a	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲厚硬	程度論理型		○	○		ありなし			
547	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	陥入爪	論理型		○	○		ありなし			陥入爪
550	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲剥離	論理型		○	○		ありなし			爪甲剥離
553	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪下異物	論理型		○	○		ありなし			爪下異物
556	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲下出血	程度論理型		○	○		ありなし			爪甲下出血
559	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪甲下線状出血	論理型		○	○		ありなし			爪甲下線状出血
562	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	巻き爪	論理型		○	○		ありなし			巻き爪
565	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪周囲腫脹	論理型		○	○		ありなし			爪周囲腫脹
568	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	視診	爪周囲発赤	論理型		○	○		ありなし			爪周囲発赤
571	2	2	2.5.1	全身	爪	爪	視診	ミーズ線	論理型		○	○		ありなし			ミーズ線
574	1	1	2.5.1	全身	爪	爪	触診	爪の圧痛	程度論理型		○	○		ありなし			爪の圧痛
577a	1	1	2.3.1	全身	リンパ節	表在性リンパ節	視診	全身的なリンパ節腫脹	程度論理型					ありなし			
578a	1	1	2.3.1	全身	リンパ節	表在性リンパ節	視診	局所的なリンパ節腫脹	程度論理型		○			ありなし			
582	1	1	2.3.1	全身	リンパ節	表在性リンパ節	視診	リンパ節腫脹	論理型	数				単発・多発			リンパ節腫脹の数
592a	1	1	2.3.1	全身	リンパ節	表在性リンパ節	視診	リンパ節腫脹の数	論理型					単発・多発			
593	1	1	2.3.1	全身	リンパ節	表在性リンパ節	視診	リンパ節腫脹	数値型	数				数値	個		リンパ節腫脹の個数
594	1	1	2.3.1	全身	リンパ節	表在性リンパ節	視診	リンパ節腫脹	数値型	長径				数値	cm		リンパ節腫脹(長径)
595	1	1	2.3.1	全身	リンパ節	表在性リンパ節	視診	リンパ節腫脹	数値型	短径				数値	cm		リンパ節腫脹(短径)